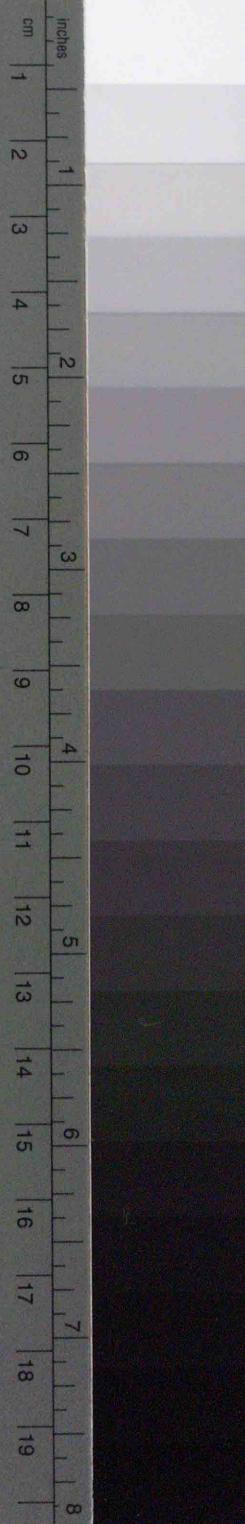


30547

教科書文庫

3
290
51-1886
20003 02842

**Kodak Gray Scale**A 1 2 3 4 5 6 **M** 8 9 10 11 12 13 14 15 **B** 17 18 19**Kodak Color Control Patches**

Blue Cyan Green Yellow Red Magenta White 3/Color Black

© Kodak 2007 TM Kodak

C
Y
M

© Kodak 2007 TM Kodak

**改正日本地誌要畧**

大槻修一著述

四



3 4 5 6 7 8 9 10 11 12 13 14 15 16 17 18 19 20

375.9  
Oct 19

廣  
大  
圖  
書  
之  
印



改正日本地誌要略卷之四

東京 大槻修二著述

北陸道

若狭越前加賀能登越中越後佐渡ノ七國ヲ、北陸道トセス、  
西北八、共ニ日本海ニ向ヒテ、其海水ハ潮汐ノ干満極テ少  
シ、東南ハ大山脈、圍ミ亘リテ、東山道ト、向背ヲナシ、其際僅  
ニ峻路險坂ヲ通ズルノミ、而テ西端ハ山陰道ニ接シ、東隅  
ハ、奥羽ニ界ス、其間百七十里、南北ノ幅員ハ、山海相逼リテ、  
其最狭キ處八十里ニ過ギザレバ、亦三十里ノ廣處ニ及ブ  
者アリ、白山立山ノ二高山、相並ビテ、中央ニ對立ス、即全國  
ノ脊骨ナル大山脈中ノ大岳ニシテ、白山ノ脈ハ、正北海上

ニ出デ、能登ノ半嶋國ヲナス、仍テ全道ノ地勢ヲ限ル、立山ノ脈ハ、數里ニシテ、切斷シ、其海岸ヲ、親不知ノ險トナス、佐渡ハ、其海上ニ崎テル一孤嶋タリ。○抑、全道ハ、兩羽、陸奥ニ亘リテ、上世、越國ト呼ブ、亦蝦夷ノ境域、ナリ、王化ノ及ブニ從ヒテ、土夷ノ内附スル者、相繼ギ、孝德帝ノ時、境ヲ開ク。○漸廣シ、大化三年、渟足柵ヲ置キ、明年、石舟柵ヲ置ク、今ノ沼垂岩船是ナリ、天武帝特ニ諸國ノ疆界ヲ定ム、蓋三越ノ分國ハ、此時ニ在リテ、白山ノ脈ヲ、前中ノ經界トシ、二柵以北ヲ越後ト泛稱ス、大寶二年、越中四郡ヲ越後ニ屬セシメ、立山ノ脈ヲ、中後ノ分界ト定ム、和銅元年、出羽柵ヲ置キ、五年建テ、國トナス、越後ノ北境、始テ定ル、養老二年、越前ヲ若狭三郡

創キテ、能登國ヲ建テシガ、後二十三年ヲ歷テ、コレヲ越中ニ合セ、同時ニ又佐渡ヲ越後ニ屬ス、孝謙帝ノ時ニ至リテ、兩國共ニ再置ス、其後五十六年更ニ越前ヲ割キテ、加賀國ヲ建ツ、寶弘仁四年ニシテ、是ヲ中世分國ノ最尾トス。

若狭

全道ノ西端ニ居ル小國ニシテ、越前其前ヲ擁シ、丹後其後ヲ圍ム、南ハ山脈ヲ限リテ、近江丹波ニ接ス、海岸ノ中央ニ、大灣アリ、小濱入江ト云フ、松崎東ヨリ出デ、久須夜岳其岬上ニ崎チテ、灣ノ前面ヲ抱ク、赤栗崎ハ、西ヨリ出デ、岳端ト、海口ヲ夾ム、其間一里、灣内ハ周回十四里、南川丹波ノ界ヨリ來リ、北川近江ノ境ニ發シ、相共ニ小濱ニ至リテ、海ニ

入ル、小濱ハ、人口一萬ニシテ、灣ノ、南岸ニ臨ミ、北運ノ舟舶常ニ輻湊シテ、日本海中ノ良港タリ、多田岳、後瀬山、共ニ小濱ノ南ニ並ビ、其後山相重リテ、國界ニ連ル、山間ノ一邑ヲ、熊川ト云フ、西近江ニ接セリ。○入海ヨリ西ハ、押廻崎、高濱浦等、岬灣出入スレ凡、舟舶ノ地ナク、直ニ丹後ニ亘リテ、青葉山高ク國境ニ峙ツ。

三方湖ハ、上中下ノ三湖ニ分レテ、周囲各二里餘、其水相通ジテ北ニ流レ、早瀬浦ニ至リテ、海ニ入ル、蓋三方ハ三潟ナリ、郡名モ亦是ヨリ起レリ、凡北海濱ノ湖沼ハ、皆潟ト呼ビテ、羽後ニ象潟、八郎潟アリ、陸奥ニ十三潟アレバ、上世同國ナルヲ推シテ知ルベシ。○常神浦ニ、御神山アリ、海中ノ小

**嶼ニシテ**、其沿岸ハ、勝景ノ地多ク佐垣丹生ノ諸濱相臨ミテ、琴引崎ハ、越前ノ境ヲ限レリ。

越前八郡

繼體帝ノ登祚セラレザルヤ、幼ヨリ此國ニ居給ヒ、常ニ水理ノ治ラザルヲ憂ヒ、河道疏通ノ工事ヲ起シテ、東北ニ海港ヲ開カレシト云フ、今ノ坂井港是ナリ、其河流ノ長ナル者三條アリ、下流ハ相集リテ一大河トナリ、遂ニ其港ニ注ギ入ル、其一ヲ日野川ト云フ、北流二十四里、北國街道ノ武生ヨリ舟運ヲ通ズル十里、角折ニテ足羽川ニ會シ、是ヨリ安居川ト稱ス、高屋ニ至リテ、九頭龍川ト合ヒ、水勢益大ニシテ、坂井港ニ注グ、其二ヲ足羽川トス、田代部子ノ諸

山ヨリ出ヅル者、相集リテ、北ニ下ル二十五里、福井ヲ貫キ  
テ、官道ニ九十九橋ヲ架ク、橋下ヨリ既ニ舟運アリ、其三ハ  
即九頭龍川ナリ、其流三十里、別山ニ發スル者ヲ正源トナ  
ス、油坂川、秋生川等、集合シテ、荒嶋岳ノ麓ヲ遶リ、兩岸、相逼  
ルニ丈餘、真名川、南ヨリ會流シテ、水勢始テ大ナリ、鷺岳ノ  
下ヲ過ギ、分レテ飯嶋ヲ夾ム、其相合ヒテ西下スルヤ、行舟  
始テ下流ニ達スベシ、再、五領嶋ヲ抱キテ、又、合ヒ、福井ノ東  
ニ舟橋アリシカバ、舟橋川ノ稱アリ、今ハ長橋ヲ架ク、此三  
川、各既ニ大ナリ、其一道トナルヤ、河幅二百間、是ヲ北陸、七  
大河ノ其一トス、

國中山多ク、惟、安居川ノ兩岸ヨリ、海濱ニ亘リテ、僅ニ平野

タ得ルノミ、東南隅ハ、山岳重疊シテ、飛驒、美濃、加賀ト相接  
シ、白山、其北ニ秀デ、大日岳、其南ニ聳エテ、道路ヲ通ゼズ、白  
山ノ別峯ヲ、別山トナス、荒嶋岳、特ニ峻秀ニシテ、飯降山ト、  
共ニ其西ニ並ブ、加賀ノ境ハ、兜山、經岳、鷺岳等、相接シテ、丈  
競、火焔ノ諸山ニ連リ、其脈、盡クル處ハ、即平野ノ東南十  
リ、而テ、美濃ノ境ニ亘ル者モ、共ニ高山峻嶺ニシテ、油坂嶺  
部子岳、田代山、冠岳等、相連リテ、西南ニ走リ、其隅ヲ板取峠  
トス、北陸ノ官道ニ當レリ、木芽峠、其北ニ連リテ、歸山、湯尾  
峠等ノ脈ヲ起シ、海岸ニ沿ヒテ、綠青越智國見、高須ノ諸山、  
相並ビ、北ニ亘リテ、坂井港ノ西ニ絶エ、中央モ、曰野、白椿文  
珠、吉野、永平寺山等、各方ニ峙チ、村里、多ク其山間ニ在リ、

坂井港ハ人口一萬、其舊稱ヲ三國ト云フ、街市ハ河口ノ兩岸ヲ夾ミテ、中央ニ道寶嶋アリ、安嶋崎ハ港ノ北ヨリ出デ、雄嶋其海上ニ峙ツ、以北ノ沿岸ハ斷崖相亘リテ、奇絶ノ景勝アリ。○北潟ハ東北隅ノ入江ニシテ、周回五里ニ及、其東岸ハ加賀ニ亘リテ、灣内ニ注グ、界川ヲ兩國ノ經界トス。

福井ハ人口四萬ニシテ大津ト相距ル四十二里、北ハ金澤ニ到ル、二十三里、此地ハ天正中柴田勝家ガ居城セシ處ニテ、北莊ト呼ビシガ、松平氏ノ封ヲ受クルニ及ビテ、今稱ニ改ムト云フ、安居川ノ舟運、六里ヲ通ジテ、運輸頗便利ナリ、大野勝山ノ兩邑ハ、九頭龍川ノ上流ニシテ、丸岡、松岡ハ、其

下流ニ接ス、鯖江ハ日野川ヲ夾ミテ、武生ト相對ス、亦官道ノ驛路ニ當レリ。

敦賀ハ南隅ノ一郡ナリ、海灣深ク入りテ、其西岬ヲ立石崎ト云ヒ、榮螺岳其岬端ニ立チテ、越前崎ト相望ム、敦賀港ハ人口一萬ニシテ、灣内水深キ四十仞、故ニ北海岸第一ノ良港トス、且漁車ノ鐵道ヲ近江ノ長濱ニ通ズレバ、北海送運ノ物貨ハ琵琶湖ニ漕輸シテ、大坂ニ轉致スル者、出入甚盛ナリ、邑中ニ氣比宮アリ、其東ノ金崎ハ延元中、新田義貞ガ據守シテ、興復ヲ遂ゲザリシ處ナリ。○荒乳山ハ南隅ニアリ、中古三關ノ一ナル愛發關ナリ、木芽峠ノ山脈、郡ノ東北ヲ限リテ、其最西角ヲ越前崎トス、沿岸ノ諸濱ハ、山ヲ負

ヒ、海ニ臨ミテ、坂井港ニ至ル二十餘里、岩礁相並ビテ、其際  
ニ河野浦アリ、

加賀四郡

白山ハ、直立八百四十丈、富士立山ト并セテ、三高山ト稱ス、  
全峯ノ白雪、終歲消エズ、故ニ此名アリ、國ノ西南ニ立キテ、  
西ニ別山アリ、東ニ劍岳アリ、群峯其下ニ聳エテ、人跡道路  
ナシ、國境ノ連山、皆是ヨリ起リテ、東西ヲ圍ミ成ス、釋迦岳  
妙法山等ハ、西ニ亘リテ、大日山トナリ、富士寫岳トナリテ、  
越前ノ境ヲ限ル、飛驒ノ境ハ、最重峻ニシテ、笈岳池三峯等、  
並ビ立ツ、一帶ノ山脈、正北ニ走リテ、越中ノ界ニ亘ル者ハ、  
節上世前中、兩越ノ經界ナリ、醫王山、二俣山寶坂嶺等、相列

リテ、其隅ヲ栗殼嶺トス、官道、坂路ニシテ、三國山、又其北  
ニ峙ツ、

海岸十八里、岬角ナク、嶋嶼ナク、嵐礁ナシ、港灣モ亦甚少シ、  
僅ニ安宅美川、金石ノ三港アレドモ、其ニ大船ヲ繫グ、能  
ハズ、沿海ノ地、頗平坦ニシテ、六七里ニ亘レドモ、内地ハ山  
谷相列リテ、竟ニ白山ノ麓ニ接ス、其際ニ温泉多シ、西ニ山  
代山中、粟津ノ三湯アリ、中央ヲ中宮湯トシ、東隅ヲ湯涌ト  
ス、

手取川ハ、兩源共ニ白山ニ出ヅ、其一ヲ千尋瀧トス、直下ニ  
百丈、二水相合ヒテ、中央ヲ北ニ流ル、二十里、美川港ニ注  
グ、北陸七河ノ一ナリ、大聖寺川ハ、大日岳ヨリ出デ、西北

ニ環ル十八里、九谷ヲ過ギテ、西ニ轉ズ、即越前ノ界川ナリ  
梯川モ環流十二里、小松ヲ歷テ、安宅港ニ入レバ、又安宅川  
ト云フ、犀川、淺野川ハ、金澤區ヲ夾ミテ、西北ニ流レ、犀川、  
海港ヲ金石港トシ、淺野川ハ、北ニ環リテ、河北潟ニ入ル、○  
河北潟ハ、海濱ニ接シテ、周回六里、又八田潟ト云フ、下流ハ、  
西ニ出デ、亦金石港ニ入ル、今江木場柴山ノ三潟ハ、水流  
相通ジテ、常ニ三湖ト呼ブ、其水一道トナリテ、梯川ニ入ル、  
湖ノ西ナル海濱ヲ篠原トス、松林一帶、相連ル五里、安宅  
浦ヨリ北潟ノ海口ニ亘レリ、

金澤區ハ、北陸第一ノ都會ニシテ、東京ト相距ル、百二十七  
里、街市ハ尾張町、南町等、方一里ニ亘リテ、人口十一萬アリ、

其繁盛ナルヲハ、名古屋ニ次グ、此地ハ舊稱ヲ尾山ト呼ビ  
シガ、前田氏ノ居城ヲ定ムルニ及ビテ、今名ニ改メシト云  
フ、○金石港ハ、大野宮腰ヲ并稱スル者ニテ、人口一萬、金澤  
トニ里ヲ隔ツ、小松、大聖寺モ亦各一萬ノ人口アリテ、共ニ  
北國街道ノ大邑トス、

能登四郡

此國ハ、大ナル半島ニシテ、日本海中ニ突キ出ヅルヲ三十  
餘里、猶東海ノ伊豆ノ如シ、但中央ヨリ、折レテ東北ニ向ヒ  
其端、大ナル岬角ヲナシテ、佐渡嶋ト相對ス、中間三十里、蓋  
白山ノ脈南ヨリ來ル者、此岬ニ至リテ斷ツ、是ヲ能登御崎  
ト云フ、○岬ヨリ西南ヲ、外浦ト呼ビ、加賀越前ト、一帶ノ海

濱ヲナス、岬ヨリ東南ハ、地勢彎曲シテ、越中、越後ト相向フ、  
其沿岸ニ九十九港アリ、七尾入江アリ、總稱シテ内浦ト云  
フ、

三國山ハ、南境ニ崎チテ、加賀越中ニ跨ル寶達山、其脈ヲ承  
ケテ東ニ石動山アリ、共ニ越中ノ界ニ立ツ、而テ國ノ中央  
ニ亘ル者ハ、鷹爪別所高洲寶立ノ諸山相連リテ、山伏山ニ  
絶工、其端ハ、卽御崎ナリ、三岬並ビ出デ、巨嵒絶崖屹立ス  
ル、十餘丈、金剛崎、最嶮峻ナル、郡名ニ依リテ、珠洲崎ト總  
稱ス、岬前ハ、岩礁相列リテ、北運ノ舟舶、歲々、損破ノ害ニ逢  
フ者、甚多シ、故ニ相戒メテ、第一ノ危険トナス、

國中、大河ナシ、羽食川ハ、寶達山ニ出デ、上流ヲ子浦川ト

アス、邑知瀬ノ下流ト、共ニ外浦ニ注グ、同海岸ニ又神代川  
アリ、  
内外浦ハ、共ニ舟泊ノ處多久、而テ、港灣ノ景、皆其奇勝ヲ賞  
ス可シ、然凡て、海上ハ、暗礁冥洲、相亘リテ、舟行甚困ムト云フ、  
○外浦ハ、沿岸四十里、西北ノ兩面ヲ開ク、北ニ向フ處、ハ、辰  
崎出デ、輪鳴港ヲ擁ス、其海上十九里ニ、舳倉嶋アリ、周回  
一里餘、平生居民十キモ漁獵ノ場タリ、數嶋其北ニ並ブ者  
ヲ七嶋ト呼ブ、○福浦ハ、西ニ向ヒテ、大澗、小澗ノ兩口アリ  
七尾入江ハ、東南隅ノ大灣ニシテ、沿回三十里、能登嶋其正  
中ニ横リテ、周回十四里、常ニ嶋地ト呼ブ、灣口ハ、嶋ノ東端  
ト、相夾ミテ南北兩峠ヲナス、南口漸小ナリ、海小口ト云フ、

北口頗大ナリ、海大口ト云フ、灣内モ亦鳩ト相夾ミテ、三口屏風崎ノ兩峽アリ、屏風崎ハ、南屏風、後屏風等、兩崖共ニ絶壁ニシテ、其西南海濱ニ和倉ノ温泉アリ。○七尾港ハ、所口ト稱ス、金澤ト相距ル十八里、小口峽内ノ南岸ニ臨ミテ、港内東西一里、北ハ能登嶋ト、對岸ニ里ヲ隔ツ、水深キト六仞、故ニ舟舶ノ安穩ナルヲハ、北陸第一トス、然凡、陸路ノ運輸甚便ナラズ、此地ハ、畠山氏ガ世々此國ヲ領セシ時ノ居城趾ニシテ、上杉謙信ノ來リ攻メテ、コレヲ陷レシハ、實ニ天正二年九月十三夜ナリ。○中居麥浦乙崎ノ三港ハ、大口峽内ノ北岸ニ臨ミテ、水共ニ深シ、其峽外ニ宇出津アリ、以北、九十九港ニシテ、灣浦相並ビテ、小木ハ、其中ノ良泊ナリ。

是ヨリ東北、十一里ニシテ、御崎ニ達ス、其岬陰ナル蛸鳩港ヲ内浦ノ最尾トス。

越中

四郡

北陸ノ七大河ハ、此國ニ四川アリ、而テ神通川最大ナリ、飛驒ヨリ來リテ、國ノ中央ヲ北ニ流レ、篠津山田ノ諸川ヲ弁セテ、水勢益大ナリ、奔流直下シテ、橋梁ヲ施スノ能ハザレバ、官道ニ舟橋ヲ設ク、富山ノ東ニ、六十四舟ヲ列ネテ、往來ヲ通ゼリ、更ニ下ルニ里、其海口ヲ、東岩瀬ト云フ、源ヨリ五十里、國界ヨリ三十里、下流ノ幅、二百五十間、信濃川ノ外、北國、此大河ナシ。○莊川ハ、上流ヲ雄神川ト云ヒ、下流ヲ大門川ト云フ、郡名ヲ以テ、又射水川ト云フ、飛驒ノ白川ノ末ニ

シテ、其流四十里、西隅ノ衆流ヲ弁セテ、北ニ下リ、高岡ニ至  
リテ、小矢部川ト合フ、小矢部川ハ、大門山ニ出デ、亦北ニ  
流ル、二十里、礪波山ノ麓ヨリ、東ニ折レ、相會シテ、新湊ニ  
入ル、此他ノ二大河ハ、其ニ立山ノ奥ニ出ヅ、其鷲羽岳ヨリ  
出デ、山陽ヲ流ル、者ヲ、常願寺川ト云ヒ、藥師岳ニ發シ  
テ、山陰ヲ下ル者ヲ、黒部川ト云フ、黒部川ハ、東隅ヲ流ル、  
ト二十里、官道ニ合本橋アリ、左右ヨリ層架シテ、柱杭ヲ用  
キズ、下流ハ數派ニ分レテ、四十八瀨ト呼ブ、其本流ハ、直ニ  
新濱ニ注グ、常願寺川モ、亦北流、十八里、中央ヲ環リ流レテ、  
水橋港ニ入ル、兩河ノ間ナル、片貝早月ノ二川モ、亦源ヲ立  
山ノ屬峯ニ出ス者十リ、

立山モ、三高山ノ一ニシテ、東南隅ニ屹立スル五百餘丈、劍  
岳、藥師岳等、重疊シテ、飛驒、信濃ニ跨ル者ヲ鷲羽岳トス、國  
境ハ、人跡ヲ通ゼザル者十餘里、立山ハ、峯頂常ニ硫煙ヲ吐  
キテ、山中火坑多シ、俗ニ四十八地獄ト呼ブ、其麓ニ有峯、黑  
薙等ノ温泉アリ、小川ノ湯浴客最多シ、山脈ハ東北ニ赴キ、  
十里ニシテ切斷ス、其海岸ヲ宮崎ト云フ、即越後ノ界ナリ、  
○朽津山、牛岳、祖父岳等、南方ニ並列シテ、夫婦山、金剛堂山、  
其前ニ並ビ、以北ハ、山圍漸開クレドモ、西南ハ、白山ノ脈ヲ  
承ケテ、飛驒ト接スル處ニ、人形山高ク峙ツ、其山麓ハ、五箇  
山ト呼ブ別郷アリ、大門山ハ、加賀ニ跨リテ、連山一帶、北ニ  
赴キ、地勢ノ經界ヲ限リテ、其隅ヲ礪波山トス、即栗殼嶺十

リ、壽永中、木曾義仲ノ平軍ヲ麷殺セシ處ニシテ、今尚源氏峯等ノ舊稱アリ、其脈東北ニ走リテ、能登ノ界ニ、三國寶達石動ノ諸山相亘リ、正北ノ海岸ニ至リテ盡ク。

國ノ海岸ハ、彎曲シテ、一大灣ヲ成ス、正中ヲ岩瀨港トシ、東二里ヲ水橋トシ、又三里ヲ魚津トシ、又東三里ヲ新濱トス、是ヲ灣ノ東端トナス、更ニ沿岸五里ニシテ、宮崎ニ至ル。○冰見放生津、兩潟ハ、灣ノ西北濱ナル小湖ナリ、冰見、稍小ニシテ、又布施湖ト云フ、亦義仲ノ馬ヲ放キテ、其深淺ヲ驗セシ處タリ、湖口ヲ冰見港ト云フ、唐鴟其海上ニ峙キテ、北ニ西鴟アリ、一國ノ海中、惟此兩嶼ノミ。○放生津ノ湖口ハ、卽莊川ノ海口ニシテ、伏木ト弁セテ、新湊ト稱ス、人口二萬リテ、亦官道ノ驛路ニ係ル。

國中第一ノ大港ニシテ、古國府ノ湊ト唱ヘシ者、是ナリ、富山ハ人口五萬ニシテ、高岡ハ二萬五千アリ、相距ル六里、更ニ栗殼崎ヲ超エテ、金澤ニ至ル十一里、即北國街道ナリ、魚津モ、海濱ノ一邑ニシテ、人口一萬、富山ノ東北六里ニアリテ、亦官道ノ驛路ニ係ル。

山越後七郡

北陸中ノ大國ニシテ、東西八十里、南北ハ三十里ニ及ブ、故ニ境域ノ廣大ナルヲハ、全道ノ半ニ居リ、其沿海ハ彎曲シテ、一百里ニ亘レリ、米山彌彥山、各岸上ニ聳エテ相望ム、因テ一國ノ形勢ヲ三分ニス、兩山ノ際ヲ中越後ト云ヒ、米山以西ヲ、上越後トシ、彌彥ヨリ北ヲ、下越後トス、國ノ中央以

北ハ信濃川阿賀川等ノ兩岸ニ亘リテ、地勢ノ平坦ナルヲ  
ハ三十里ニ及ブ、

國境ハ皆重山深嶺相圍ム、即全國ノ脊骨ナル連岳ナリ、飯  
豊山ハ高ク正東ニ位シテ、岩代、羽前ノ界ニ立ツ、大日岳其  
南ニ崎チテ、棒掛山、蒜場岳等、並ビ重ル、二王子、風倉及五頭  
山、菱岳、相接シテ其前面ニ列レリ、大日岳ノ瀧谷、及二王子  
岳ノ七瀧澤等ハ、共ニ數十丈ノ大瀑布アリテ、下流ハ加治  
川トナル、○以東岳ハ、羽前ノ朝日岳ニシテ、別峯ノ三稜ヲ  
ナス者ヲ、三面山ト云フ、其南ニ光兔山アリ、北ニ鷲巣山ア  
リ、高根、鳴海ノ諸山、其脈ヲ受ケテ、北境ヲ限リ、葡萄山ニ西  
峯、南峯アリテ、海府ノ岸ニ盡ク、

守門岳ハ東南ノ大岳ニシテ、山背ヲ岩代トス、會津ノ通路  
ハ六十里越、其南麓ヲ貫キ、八十里越、其東北ヲ環ル、共ニ谷  
間ノ一路ノ之、破間五十嵐、刈谷田ノ諸川ハ、皆源ヲ此深谷  
中ニ發セリ、○五劍谷岳、御神樂岳、間見岳ハ、守門、大日、兩岳  
ノ間ニ連リテ、高峻相若タ、粟岳其西ニ秀デ、三峯並ビ立  
ツ、山中ノ大瀑布ヲ、十三丈瀧ト云フ、加茂川ノ源ナリ、菅  
名岳ハ、粟岳ノ北ニ崎チテ、阿賀川ノ岸ニ臨ミ、菱岳ト相對  
シテ、津川郷ノ西境ヲ限レリ、

三國峠ハ、正南隅ニシテ、上野信濃ニ跨ル、北陸官道ノ三國  
通ト呼ブ者ハ、此嶺上ニ由ルヲ以テナリ、大劍田山、飯土山  
八海山、中岳等ハ、其北ニ連リテ、守門岳ニ接ス、○苗場山ハ、

三國峠ノ北ニ立チテ、雁峯菱岳等、其西ニ列リ、南ニ環リテ、斑尾山トナリ、共ニ信濃ノ境ヲ限レリ、妙高山ハ、西南隅ノ噴火山ナリ、神名茶臼及燒山等、相重リテ、戸隱山ニ接ス、山中ニ苗名瀧アリ、又山麓ニ關山赤倉等ノ温泉アリ、○蓮華山ハ、數峯並ビ立チテ、越中ニ界ス、南ノ乘鞍岳ハ、噴火山ニシテ、北ノ袴腰山ヲ裏蓮華ト呼ブ、山中ノ温泉ヲ黃金湯素湯黒湯ト云フ、群山相重リテ、直ニ海岸ニ亘レバ、十餘里ノ間、又通路ナシ、故ニ北國ノ官道ハ、僅ニ沿海ノ一條アルノミ、

千曲川ハ、其上流ノ國名ニ就キテ、信濃川ト呼ブ、本嶋第一之巨流ニシテ北陸七河ノ最大ナル者ナリ、然氏中間ニ舟

運ヲ絶テル處アレバ、甚其便利ヲ欠ク、國境ハ大瀧ノ下流ニ當リテ、奔流ノ瀑布ノ如キ者數十處アリ、是ヲ總瀧ト云フ、中津、清津ノ兩川ヲ納レテ、北ニ赴ク十餘里、十日町ヨリ、始テ舟行ヲ通ゼリ、川口ニ至リテ、魚沼川ト相會ス、水勢益其大ヲ致シテ、西ニ折レ、小千谷ヲ過ギテ、蘆見川ヲ納レ、又北ニ轉ジテ、長岡ニ至ル、山圍始テ解ケテ、兩岸ノ地、悉平坦ナレバ、環流二十里、與板ヲ過ギテ、支川兩派ヲ西北ニ分キ、又刈谷田、五十嵐加茂ノ三川ヲ合セ、小阿賀川ヲ受ケテ、西ニ環リ、西川、中口川ノ兩支川ハ、鎧潟ノ下流ト、共ニ南ヨリヘリ、栗木川、新川ハ、東ヨリ來リテ、同ジク其河口ナル新潟港ニ入ル、此川ハ國境ヨリ四十里、其上流ニ遡レバ一百里

ニ及ビ、下流ノ幅ハ、水面五百間、國內ノ水、注入スル者、甚多  
ク、俗ニ八千八水ト云フ○魚沼川ハ、常ニ魚野川ト呼ブ、大  
劍田山ヨリ出デ、北ニ流ル、十八里、六日町五日町ヲ過  
ギテ、四日町ニ至リ、破間川ト合ヒテ、西ニ折レ、三里ニシテ、  
川口ニ會ス、六日町ハ、三國通ノ驛路ニシテ、以下舟運ヲ通  
ズル三十四里、漕輸ノ利ハ、實ニ此川ニ因ルト云フ。

阿賀川ハ、岩代ノ會津ヨリ來リテ、大山脈ノ中間ヲ貫キ下  
リ、津川ニ至リテ、始テ舟行ノ便アリ、菅名岳ノ峠際ハ、急激  
六里ナレモ、以西ハ、兩岸總テ平遠ナリ、加治川及福嶋潟等  
ヲ弁セテ、其幅四百間、國境ヨリ北流二十餘里、昔時ハ信濃  
川ニ會流セシガ、歲々水害ヲ蒙ルヲ以テ、本川ヲ松崎ニ決

ミ始テ其災ヲ免ルト云フ、然レモ尚中央ヨリ小阿賀川ヲ  
分チ、又新川ヲ兩河口ノ間ニ通ジテ、共ニ運漕ノ便ヲ開ク、  
○福嶋潟ハ、越湖ト云フ、周回四里、國中ノ大湖ナリ、鎧潟ハ  
菱湖ト云フ、其水北ニ流レテ、又田潟大潟トナリ、竟ニ西川  
ニ入ル、其西ノ海濱ニ左潟アリ、鳥屋野潟ハ、信濃川ノ北岸  
ニ接シテ、栗木川ノ源ナリ、

荒川ハ、東西兩川アリ、東ナル者ハ、羽前ヨリ來リテ、西流十  
七里、飯豐以東、兩岳ノ峠間ヲ下リテ、沼川、胎内川ヲ合セ、其  
海口ヲ桃崎港トス、其北ニ三面川アリ、以東岳ヨリ出デ、  
西南ニ流ル、二十里、高根相古ノ兩川ヲ合セテ、瀬波港ニ  
入ル、○西ノ荒川ハ、上流ヲ關川ト云フ、苗名瀧ヨリ出ヅル

者ニシテ、信濃ノ境ニ沿ヒ野尻沼ノ下流ヲ受ケテ、北ニ折レ、頸城郡ノ中央ヲ流レテ、別所矢代及岡川等ヲ合セ、高田ヲ過ギ、三里ニシテ、保倉川ト、其ニ直江津ニ注グ、其西ニ姫川アリ、源ヲ信濃ノ西北山中ニ發シテ、北ニ流ル、十七里、蓮華山ヨリ出ヅル大所川小澤川ヲ合セテ、海ニ入ル。

此國ノ海岸ハ、大率平坦ナレドモ、北隅ニ海府ノ嶮岨アリ、西隅ニ親不知ノ險路アリ、中央モ亦米山岬及濱浦等アリ、○海府ハ瀨波港ヨリ、巖關ニ至ル十里、海岸悉斷崖ニシテ、崖上僅ニ一路ヲ通ズ、海中モ危礁亂立シテ、舟ヲ繫グフ能ハズ、其海上六里ニ栗生嶋アリ、嶋峯ヲ小柴山ト云フ、四面其ニ絕壁ニシテ、前濱僅ニ小灣アリ、此國ハ惟此一嶋ノミ、

①親不知ハ、越中ニ接シテ、沿海五里、其路ハ斷崖ノ下ニ亘レリ、蓋風浪來リ擊ツキ、父子モ相救フニ暇アラズ、故ニ此名アリシガ、近來崖上ノ新路ヲ開ケリ、○田尻鼻ハ、米山ノ岬端切斷シテ、壁立五十丈、二條ノ瀑布、直ニ懸リテ、海中ニ落ツ、其ニ白絲瀧ト云フ、○濱浦ハ彌彥山ノ麓ニアリ、彌彥ハ角田山上、相並ビテ、其岸下ハ嵐洞、石窟等、相並ブフ五里、○此四處ハ、其奇險ヲ極ムト雖、景色モ亦奇絶ナル者トス、其他ハ椎谷大崎、鳥首崎、能生崎ノ數岬アリ、上越後ハ、頸城一郡ノ稱ニシテ、南ハ信濃ノ北端ヲ受ケテ、地幅甚狭シ、國境ノ關川驛ヨリ、直江津ニ至ル十里餘、西ハ妙高山、蓮華山、相重リテ、北國街道ハ、其山下ノ海濱ニ亘リ

テ、直江津ヨリ、國境ニ至ル二十里、是ヲ山下通ト稱ス、能生絲魚川等、諸邑アリテ、其隅ハ親不知ナリ。○秋山ハ東隅山際、別郷ニシテ温泉アリ、山中ノ水、北ニ流ル、者ハ瀧見川トナリ、西ニ環ル者ハ、保倉川トナル、鍋立山ハ、菱岳ト相對シテ、正北ニ立チ、郡ノ北境ヲ限リテ、米山ニ接ス。○高田ハ人口二萬ニシテ、新潟ニ至ル三十三里、又信州通ノ官道ニ當リテ、長野ト相距ル十六里、邑西ニ春日山アリ、上杉氏三世ノ居城趾、今尚存セリ、直江津ハ、今町ト呼ブ、北國官道ニ當リテ、且舟舶、便アリ、此港ヨリ信越鎌道ヲ通ゼントシテ、既ニ其工事ヲ起セリ、港ヨリ東ハ平坦ナル砂路ニ及、瀧町、柿崎ヲ歷テ鉢崎ニ至ル六里、即米山ノ麓ナリ。

中越後ハ、東西兩地ニ分ル、黒姫山ハ、鍋立山ト相接シテ、八石弁形小木ノ諸山、相列リ、西北ニ亘リテ、國上山ヨリ、彌彦山ニ連ル、山西ハ、海濱十七里ニシテ、其間ニ三港アリ、柏崎出雲崎、共二人口一萬ニシテ、寺泊ヲ佐渡ノ渡津トス、鯖石川ハ、八石山ノ不動瀧ヨリ來リテ、柏崎ノ北ニ注グ。○山東ノ地ハ、信濃川ノ左右ニ亘リテ、地勢平坦ナリ、其東北山際ノ別郷ヲ橡尾ト云フ。○長岡ハ、人口一萬ニシテ、三國通ノ官道ニ當ル、長生橋ヲ信濃川ニ架シテ、舟運ヲ新潟ニ通ズル十六里、近來小漁船ノ往復アリ。

蒲原ハ國ノ大半ニ占ムル大郡ナリ、北ハ岩船郡ニ亘リテ、下越後ト總稱ス、其東隅ヲ津川郷トス、常ニ岩代、會津ニ

屬シテ、其北運ノ要津トナセリ、以西ハ地勢甚平遠ニシテ、海濱ニ至ル六七里、其南北ハ三十里ニ及ベリ、其間多クハ卑濕ニシテ、泥澤ナリシガ、開墾其功ヲ積ミテ、平田、遠ク連レリ。○海濱ハ濱浦ヨリ、海府ニ至ル、平砂二十里、其海上モ一帶、暗洲アリテ、信濃阿賀、兩大河、及荒川、海口、僅ニ斷絶スル處アルノミ、舟人コレヲ一瀬ニ瀬三瀬ト呼ブ。○郡中ハ大邑頗多シ、山麓ニ村松、五泉アリ、河岸ニ三條加茂アリ、平野ニハ新發田、水原アリ、其北隅ニ岩船村上アリ、新發田ハ人口一萬ニシテ、新潟ノ東北七里ニアリ、東ハ津川ト相距ル十里、新發田川ハ、加治川ノ上流ヲ分レテ、邑南ヲ過キ、平野、間ヲ環流シテ、西ニ赴キ、福嶋潟ヨリ來ル新郷ヲ存スルノミ、

此國ハ北海ヲ受ケテ、氣候甚寒烈ナリ、積雪早ク降リテ、遲  
ク消エ、故ニ雪國ノ稱アリ、又火脈ノ地中ニ亘ルヲ以テ、溫  
泉頗多シ、又火井アリ、蓋地火ノ上昇スル者ニシテ、其法ハ  
管ヲ爐中ニ立テ、別ニ火ヲ點ジテ、コレヲ導ケバ、管頭忽火  
焰ヲ發ス、以テ煮焚燈燭ノ用ニ供スベシ、俗ニ圍爐裏火ト  
呼ブ、此井ハ魚沼郡ニ二處アリ、頸城郡ニ四處アリ、蒲原ハ  
五井ニシテ、如法寺村最盛ナリ、然レハ柄目木村、年月殊ニ  
久シケレバ、世人常ニ柄目木火ト稱セリ、又石腦油ノ產處  
ハ、頸城刈羽、三嶋、蒲原ノ四郡ニ於テ、三十七處アリ、

佐渡三郡

日本海中ノ大嶋ニシテ、越後ノ西北十里ニアリ、此嶋ハ金

銀諸鑛ニ富ムヲ以テ、其名殊ニ高シ、蓋其開坑ハ、文祿年間  
ニシテ、上杉氏ガ所領トセシ時ニアリト云フ、其採掘ノ盛  
ナルハ、慶安中ニ起リテ、爾後二百三十年ノ今日ニ至リ、一  
年ノ製煉スル者ハ、一百五十萬貫ニ及ブ、

嶋ノ周圍ハ、五十三里、兩條ノ山脈、其前後ニ列リテ、遠ク望  
メバ、二嶋ノ如シ、東西ノ岸ハ、海水深ク入りテ、共ニ大灣ヲ  
抱ク、沿岸ハ港泊頗多シト雖ドモ、危岬斷崖相列リテ、海上  
モ二百三十餘箇ノ暗礁相並ブ、而テ其舟行ノ妨碍ヲ十サ  
バル者ハ、僅二十餘礁ニ過ギズト云フ、

金北山ハ、嶋北中央ノ高峯ナリ、二嶽、橫枕山等、其左右ニ並  
ビテ、東北ハ五月雨山、檀特山、金剛山等、相列リテ、其端ヲ彈

崎トス、北端ノ大岬ナリ、連山ノ陰ハ、外海府ト呼ビテ、西ニ姫津港アリ、山際ノ水相集リテ、石花川トナル、○一頭山經塚山及米山等ハ、嶋南ノ連山ナリ、南端ニ鶴峯アリテ、其岬ノ澤崎ハ西南ニ突出ス、山下ノ海岸ハ、南ヲ前濱ト云ヒ、東ヲ東濱ト云フ、羽茂川ハ、經塚山ヨリ出デ、前濱ニ注グ、○南北兩連山ノ際ハ、東西兩海灣ノ涯ニ亘リテ、平坦ナル、五里、國府川、其間ヲ環リ流レテ、西南ニ赴キ、真野石田ノ諸川ト、共ニ西灣ニ入ル、真野山ニ順徳帝ノ山陵アリ、河原田ハ、石田川ノ河口ニ臨ム、本間氏、世々此國ノ守護トナリテ、此地ニ居リシガ、天正五年、遂ニ上杉氏ニ併セラレタリ、加茂潟ハ、周回五里ニシテ、五月雨山ノ麓ニ亘ル、湖口ハ、夷

町湊町相夾ミテ、東灣ノ正中ニ當ル、水深クシテ、舟舶ノ利アリ、港ヨリ北ハ内海府ト呼ビテ、彈崎ノ陰ニ鷺崎港アリ、○真野入江ハ、西灣ノ中央ニシテ、雪高濱越長濱等ノ名勝アリ、臺鼻ハ、灣ノ西北ヲ抱キテ、岬内ニ二見港アリ、小木赤泊ノ兩港ハ、前濱ニ臨ミテ、越後ト相對ス、赤泊ヨリ寺泊ニ至ル、海上十里アリ、小木ハ其西ニアリテ、内外兩灣、水共ニ深シ、○東濱ノ北隅ニ、水津港アリ、港上ノ濡木崎ハ、米山ノ山脚ニシテ、遙ニ彈崎ト相望メリ、相川ハ、嶋ノ西岸ニ臨ミテ、人口一萬アリ、河原田ヲ經テ、赤泊ニ至ル、九里、此地ハ金銀鑛ノ製煉場ニシテ、頗繁盛ナル一邑ナリ、

## 物產

全道河海ノ產、大率相同ジ、若狭ノ鯛、鰈能登ノ鯽、鯨等ヨリ、  
水見鮎ヲ越中ノ佳品トス、越後ノ鮭、鱈ハ最良產ニシテ、鯉  
鱸、鯖、鮫等實ニ數十品ノ多キニ及ベリ、佐渡、能登ハ、海藻ヲ  
產シテ、石花菜、石髮草及海苔、海布ノ類アリ、諸國ノ山谷ニ  
ハ、獸皮、材木ヲ出シテ、白山ノ熊膽ヲ價ノ貴キ者トス、養蠶  
モ亦各地其業ニ就ケリ、又、茶、烟草ノ產アリ、製造ノ品ハ、越  
前ノ蚊帳、加賀ノ菅笠ヲ始トシテ、漆器ハ若狭塗、輪嶋塗ア  
リ、高岡、魚津モ亦同器ノ精良ナル者ヲ製ス、銅器ハ高岡ノ  
高彫金澤ノ象嵌、最其巧妙ヲ極ム、金澤ハ又黑梅染錦手燒  
等ノ製品アリ、而テ九谷焼ヲ陶器ノ精美ナル者トシテ、相

川入無名異燒ヲ別種ノ雅品トス、布帛ハ越前ノ奉書紬、越  
中ノ五郎丸布、越後ノ五泉平、佐渡ノ裂織等ニシテ小松絹  
小千谷縮ハ直ニ其國名ヲ呼ビテ、加賀絹、越後縮ト稱ス、縮  
布ハ多クハ魚沼郡ノ產ニシテ、其婦女ガ積雪中ノ作業ニ  
係ルト云フ、白紺縞緥等各村ノ專色アリテ、コレヲ四方ニ  
鬻ク者ハ一年常ニ數千萬段ニ及ブ、富山ノ賣藥モ亦行商  
ノ更ニ盛ナル者ニシテ、畿内八道、共ニ到ラザル處ナシ、亦  
產物中ノ一種トナスヘシ、紙ハ越前奉書、其品十八種アリ、  
共ニ精滑ニシテ、他國其比ナシ、又坂井ヨリ大高紙ヲ出シ、  
敦賀ヨリ鳥子紙ヲ出セリ、加賀ノ中折杉原及越中ノ八寸、  
鳥子モ亦紙中ノ良品ナリ、飲食物ハ七尾酒ヲ第一トス、福

井ノ雲丹ハ、世ノ賞味殊ニ高シ、菓子ハ金澤ノ御所落雁、長岡ノ越廻雪、高田ノ翁飴等ニシテ、食鹽ハ鳴地、宮崎濱浦ニ製鹽場アリ、抑各種礦物ノ北陸ニ出ヅルヲハ、其來ル最久シ、天智帝ノ時ニ、越國ヨリ燃土、燃水ヲ獻ズトアリ、即泥炭石、腦油ニシテ、油ハ俗ニ臭水ト呼ブ、其他ハ若狭ノ碁石、硯石、越前ノ砥石、青石ヨリ、加賀ニ切石アリ、能登ニ石炭アリ、越中ハ硝石、硫黃ニシテ、越後佐渡ハ、瑪瑙ヲ產セリ、金屬ノ諸鑛ハ、越後ニ金銀、銅鐵アリテ、越前ハ銀及銅鉛ヲ出ス、佐渡ノ金銀ハ、開坑以來、殆三百年、故ニ既ニ佐渡ノ土ト呼ベバ、直ニ貨幣ノ通稱トナルニ至レリ、

## 北海道

北海道ハ正北ノ一大嶋ト、二十餘箇ノ連嶋トヲ合セテ、新ニ建置セシ一道ナリ、其大嶋ヲ分チテ、渡嶋、後志、石狩、天鹽、膽振、日高、十勝、釧路、根室北見ノ十國トシ、其連嶋ヲ千嶋國トス、蓋此大嶋ハ、東西百七十里、南北百二十里、其周回五百八十里、即尾ヲ奮フノ鰐魚ニシテ、宗谷襟裳ノ兩岬、南北ニ突出シテ、中腹ノ兩角ヲナシ、以西ハ地勢、左右ヨリ、次第ニ亘リテ、其南端ノ渡嶋國ハ、日本嶋ト相對ス、東北隅ハ、納沙布、知常ノ兩岬、相望ミテ、根室ノ大灣ヲ擁シ、其狀口ヲ開クガ如シ、千嶋、連嶋、並ビ連リテ、東北ヨリ來リ、相追ヒテ口

内ニ入ル、是全道ノ大勢ナリ、嶋中ハ山岳相重リテ噴火山  
甚多シ、石狩、十勝、夕張、天鹽ノ諸大岳ハ、大嶋、中央ニ峙キ  
テ、山脈ヲ四方ニ起セリ、西ニ亘リテ後志岳トナリ、遂ニ南  
ニ赴ク者ハ、日本嶋ニ連ル大山脈ナリ、阿寒摩周、諸山ハ、  
東方ニ並ビテ、直ニ千嶋連峯、脈ヲ受ケ、別ニ支脈ヲ東北  
ニ分キテ、其端ハ知常崎トナル、又夕張岳ヨリ正南ニ直行  
スル者ハ、襟裳崎ニ絶工、天鹽岳ヨリ西北ニ迂回スル者ハ、  
宗谷崎ニ盡ク、此連山ハ、即地勢ヲ區分スル者ニシテ、日高  
十勝釧路、三國ハ、太平洋ニ向ヒ、膽振ト合セテ、東地ト稱  
ス、其海岸百七十里、海底悉淺沙ニシテ、僅ニ室蘭厚岸ノ兩  
港アルノミ、石狩天鹽ハ、共ニ日本海ニ臨ミ、後志ニ亘リテ、

西地ト呼ブ、沿岸百三十里、大率、斷崖危岬、相列レドモ、舟泊  
ノ地、頗多シ、北見ハ正北ノ海岸ニ亘リテ、全ク蝦夷海ヲ受  
ク、此海ヲ魯西亞人ハ、阿哥斯科海ト稱セリ、○抑此嶋ハ、蝦  
夷嶋ニテ、近世ニ至ルマデ、尚土夷ノ住地タリ、其大嶋ニ住  
スル者ヲ、愛乃ト稱シ、千嶋ニ居ル者ヲ、久留武勢ト呼ブ、其  
ニ文字ヲ知ラザレドモ、一種、方言アリ、男女ノ衣服ハ、獸  
皮、樹皮ヲ用キ、被髮徒跣ニシテ、山獵、海漁ヲ業トス、上世ハ  
奥越、土夷ト別キテ、渡嶋蝦夷ト呼ブ、齊明帝ノ時ニ、阿部  
比羅夫ノ來リテ、政所ヲ後志ニ建テ、膽振等ノ郡領ヲ置キ  
シハ、此嶋ニ事アルノ始ナリ、其後、百五十年、坂上田村麻呂、  
征夷十餘年、悉奥越、土夷ヲ驅リテ、此嶋ニ追ヒ退ケ、松前

海峡ヲ其經界ト定ム、元慶中、出羽ニ夷俘、亂アリシ後此嶋、蝦夷モ亦内屬スト云フ、然凡海水ヲ隔テシ絶嶋十レバ、尚夷地ニ委スルト三十年、源義經、陸奥ヲ逃ル、ヤ、蝦夷嶋ヲ經歷シテ、土人ニ弓矢耒耜ノ用ヲ教ヘシカバ、各地夷人尊ビテ中興ノ神人トナスト云フ、嘉吉中津輕ノ人安東教季、始テ渡嶋ニ來リテ、土夷ヲ撫從シ、其屬蠣崎季繁、大ニ境域ヲ廣ム、寶徳中、若狭ノ人武田信廣、來リテ其女婿トナリ、攻擊順撫、力ヲ盡シケレバ、屬從スル者、頗多シ、遂ニ居城ヲ松前ニ築キテ、全嶋ヲ領ス、徳川氏ノ時ニ魯西亞國ノ其隣境ニ逼リ、英吉利國モ、亦東洋ニ意アルコ知レバ、守禦撫育ノ方略ヲ定メントテ、寛政十一年、全嶋ヲ收メ

テ官地トス、文化三年、魯人果テ千嶋、宗谷ヲ侵シ、數年ニシテ、事纔ニ止ム、爾後五十年、其兩國ト通信ヲ結ブニ及ビテ、箱館港ヲ互市場ト定ム、明治二年八月、北海道十一國ヲ建テ、開拓使ヲ置キテ、開墾ノ事ヲ掌ラシム、此時千嶋ハ僅ニ兩嶋ニシテ、北蝦夷ト呼ビ來リシ樺太嶋ハ、魯國ト兩屬ノ地ナリシガ、八年五月、土地交換ノ議ヲ決メテ、樺太ヲ全ク彼ニ附シ、千嶋ハ悉我ニ屬セシム、全道ノ經界、始テ定ル、其地曠漠ニシテ、氣候最寒烈十レバ、積雪ハ終年消ケズ、春冬ハ山路皆埋リテ、海水悉ク凍ル、故ニ行路舟運、共ニ通ズル、能ハズ、然凡開拓ノ法既ニ其事業ヲ進メテ、道路、渡津等、大ニ備ル、全道ノ人口ニ十三萬ニシテ、土人ハ僅ニ一萬餘

口アルノミ、十五年二月、開拓使ヲ廢シテ、新ニ箱館札幌根室ノ三縣ヲ置ク、是ニ於テ全國同一ノ政治トナレリ。

渡嶋六郡

渡嶋ハ全嶋ノ古名ナリ、新ニ國郡ヲ建ツルニ及ビテ、其南端ノ定名トナル。○此國ハ東、南、西ノ三面、共ニ海ニ臨ミテ、北ハ膽振、後志ノ兩國ニ接ス、大山脈ノ兩國ノ間ヨリ來ル者ハ、中央ヨリ左右ニ分レテ、其端ハ惠山白神ノ兩岬トナル、岬ヨリ岬ニ至ル、東西三十五里、即松前海峡ナリ、陸奥ト相對シテ、其際五里ヨリ十三里ニ及ブ、  
山岳ハ中央ニ重ル者ヲ、雄鉢見日、黒瀧濁川ノ諸山トス、分レテ西ニ赴ク連山ハ、錠山鍋岳、尖岳等ニシテ、又兩脈ト十

ル、千軒岳、地藏岳ハ、南ニ亘リテ、白神崎ニ盡キ、知内岳ハ東南ニ列リテ、其端ヲ矢越崎トス、知内崎ハ、嶮坂七里十レビ、箱館、福山ノ通路ニ係レリ、○横津岳、三森、大川岳、熊泊岳等ハ、濁川岳ヨリ東南ニ走リテ、惠山ニ接ス、惠山大川岳ハ、共ニ噴火山ナリ、○茅部岳ハ、駒岳ト呼ブ、又、火山ナリ、山ヨリ西北ハ、膽振ト海灣ヲ抱キテ、其沿岸ハ三十里ニ及ブ、是ヲ内浦ト云フ、山下ノ森村ハ、官道ノ渡津ニシテ、室蘭港ニ至ル、舟程十二里、又箱館ト相距ル十一里、新ニ馬車道ヲ開キテ、往復ノ便ヲナセリ、

一國ノ川流ハ、皆此重山ノ間ニ發シテ、三方ニ分レ流ル、厚澤部最大ナリ、濁川岳ヨリ出デ、西ニ流レ、其河口ヲ柳崎

ト云フ、落部川有川モ、其ニ源ヲ同岳ニ發シテ、落部ハ内浦ニ注ギ、有川ハ南流、十二里ニシテ、箱館港ニ入ル。

箱館區ハ、入口三萬アリ、五港ノ一二シテ、安政五年、横濱長崎ト、其ニ外國互市場トナス、箱館山ハ、海中ニ立キテ、其南面ハ、松前海峽ニ臨ム、北麓ヨリ一條ノ沙洲、相亘ルヲ一里以テ、海港ヲ抱ク、灣内方一里、其水深クシテ、四時共ニ風浪ノ患ナク、舟舶ノ出入、常ニ其便ヲ得レバ、全國無比ノ良港ト稱セリ、街市ハ山麓ヨリ、洲上ニ連リテ、山腹ニ公園ヲ設ケ、其西端ニ砲臺ヲ置ク、○龜田ハ、灣ノ北隅ニシテ、五稜郭アリ、其近地ハ、桔梗野、七重濱等、相列リテ、地勢、頗平坦ナリ、北ハ又有川ニ沿ヒテ、大野ニ連レリ、○福山ハ、箱館ト、相距

ル二十五里、即松前氏ノ舊城地ニシテ、一萬五千ノ人口アリ、此港ハ白神崎ノ西北ニ在リテ、港口ハ、日本海ニ向フ、其海上ニ大嶋、小嶋アリ、江差港ハ、福山ノ北、十七里ニシテ、人口一萬アリ、西海岸ニ臨ミテ、港内ニ鷗鳴アリ、是ヨリ北ハ、柳崎熊石等、相列リテ、後志ニ亘レリ、

後志十七郡

阿部比羅夫ノ蝦夷嶋ニ來リシヤ、土夷ヲ撫從シテ、政所ヲ後方羊蹄ニ置クト、今其舊趾ヲ存セズ、後志岳ハ、雌雄ノ兩峯アリ、雌岳、頗高峻ニシテ、蝦夷富士ト稱ス、此山ハ全嶋ノ連山ヲ集メテ、本嶋ノ大山脈ヲ起ス者ナリ、昆保岳、蟹寒岳等ハ、南ニ列リテ、膽振ト腹背ヲナシ、太平、太櫓、諸岳ト十

リテ渡嶋ノ群山ニ亘レリ。○余市岳古平岳高嶋山等ハ別ニ山脈ヲ起シテ西北ニ赴キ、海中ニ突キ出デ、積丹岳ニ盡ク其端ノ神威崎ハ、西地第一ノ大岬ナリ。○雷電山ハ直ニ海岸ニ峙チテ、山中ノ温泉ヲ湯有内ト云フ、山腹ハ峻険五里、是ヲ雷電峠ト呼ビテ、西地ノ官道トス、此山ハ辨慶崎ト相對シテ、海灣ヲ抱キ、壽都歌葉ノ兩港、其灣内ニ臨ム、壽都ヨリ山路ヲ開キテ、内浦ノ岸ニ通ズル者八里、是ヲ黒松内ト云フ。

此國ハ地幅ノ狭キヲ以テ、川流共ニ長大ナラズ、南ニ利別川アリ、蟹寒岳ヨリ出デ、環流三十里、北ニ後志川アリ、後志岳ノ麓ヲ環リテ、西ニ流ル、二十里、其他ハ太櫓朱太掘

株ノ諸川、皆西海岸ニ注ギ、積丹川、余市川ハ、共ニ北海岸ニ入ル。○奥尻嶋ハ、周回十四里、東北ニ山瀬泊アリテ、南隅ノ大田崎ト相對ス、即一郡ノ地ナリ。

一國ノ形勢ハ、神威崎ヲ以テ、海岸ヲ兩面ニ開ク、積丹、美國古平、小樽等ノ七郡ハ、北ニ向ヒテ、石狩ト海灣ヲ抱ク、古宇岩内、磯谷、壽都、太櫓等ノ九郡ハ、西ニ向フ、兩海岸ノ通路ハ、西岸ノ岩内ヨリ、北岸ノ余市ニ至ル十二里、其間ニ九里ノ險路アリ、是ヲ余市越ト云フ。○岩内ハ、港東三里ニ石炭山アリ、故ニ鍊路ヲ敷キテ、車運ノ便ヲナセリ、此港ハ壽都ノ北十里ニアリテ、其間ヲ雷電峠トス。

小樽港ハ、北海岸ノ東隅ニシテ、石狩ノ界ニ接ス、本泊崎出

デ、灣内水極テ深シ、西地ノ要港ナレバ、人口一萬アリテ、其繁盛ハ、箱館ニ次グ、滝車ノ鐵道ヲ札幌ニ通ズル十里、又西ハ余市ト相距ル六里ニシテ、北ハ石狩川ノ海口ニ至ル九里、

石狩 九郡

石狩川ハ、全道最大ノ河流ニシテ、本邦第一ノ巨川ナリ、其流百七十里、西ノ父河ト呼ブ、源ヲ石狩岳ニ發シテ、二條ノ大瀑布トナル、其高各百五十丈、西ニ流レテ、曠原ノ間ヲ環ル、此地ハ上川郡ニシテ、土人ノ住居アリ、川流ハ神古丹ニ至リテ、兩山ノ際ニ入ル、水勢急駿ナレバ、上川ノ通路ハ、僅ニ此一條アルノミ、峽際ヲ過グレバ、雨龍川、北ヨリ入り、空

知川南ヨリ注グ、其河岸ニ就キテ、各一郡ヲ建ツ、以下ハ國内ノ諸水ヲ合セテ、平野ヲ環流シ、江別、對雁、茨戸ヲ過ギテ、石狩港ニ入ル、此川ハ、其上面頗緩流ナレドモ、水底甚駿急ナリ、故ニ既ニ海中ニ入ルモ、其餘勢尚數里ノ外一及ビテ、水中明ニ鹹淡ニ分ツト云フ、鮭魚ノ漁獵、最盛ナレバ、河口ハ舟舶常ニ來リ集レリ、○夕張川ハ、夕張岳ヨリ出デ、西ニ流レ、良雲沼トナリテ、膽振ヨリ來ル、千歳川ト合ヒ、北ニ環リテ、江別ニ會ス、豊平川ハ、札幌岳ニ發シテ、河岸ニ丈山谷ノ温泉アリ、下流ハ石狩川ニ注グ處ヲ、對雁トス、此國ハ、地勢平坦ニシテ、石狩川ノ左右ニ亘リ、南北二十里、東西三十里、又岡阜ナシ、○石狩岳高ク東隅ニ立キテ、其南

ヲタ張岳トス、札幌岳ハ、西南ニ峙チテ、後志岳ト相接ス。○斜芳黃金幌群別ノ連山ハ、石狩港ノ北ヨリ、海岸ニ沿ヒテ、天鹽ノ暑寒別岳ニ連レリ。

札幌區ハ、豊平川ニ沿ヒテ、新ニ開キタル街市ナリ、東西兩地ノ中央ニ當リテ、東ノ海岸ニ至ル十七里、而テ箱館ト相距ル五十八里、街市ヨリ其近村ヲ合セテ、人口ハ一萬ニ過ゲ、豊平川ノ水ヲ分キテ、新川ヲ茨戸ニ達シ、以テ運漕ニ便ニス、又鐵道ヲ東ニ築ク、十五里、江別ヲ經テ、空知ノ幌内石炭山ニ通ゼリ、區内ニ農學校工作場、紡織場、畜房等ヲ設ケ、又偕樂園博物場ノ建置アリ。

天鹽

六郡

天鹽川ハ、石狩川ニ對シテ、西ノ母川ト呼ブ、西流七十里、其上流ヲ上川郡トス、名窓劍淵ノ兩川ヲ合セテ、愛内川ト會スル處ヲ中川郡トス、此兩郡ハ、土人ノ住居スル處ナリ、薰音風音兩山ノ際ヲ環リテ、猿別川ト合ヒ、其海口ヲ天鹽ト云フ、留萌川ハ、幌尻山ヨリ出デ、西ニ流ル、十四里、此他ハ遠減、羽幌等ノ小流アルノミ、

北境ハ一帶ノ連山、相並ビテ、北見ノ境ヲ限ル、其脈ハ東南隅ノ天鹽岳ヨリ西北ニ亘リテ、散鯛風音江谷、箱屯斗ノ諸山相並ズ、又薰音岳ヨリ中央ニ亘ル連山ハ、羽幌山、幌尻山等ニシテ、南隅ハ暑寒別岳ナリ、其脈西ニ環リテ、海中ニ峙ツ者ヲ、幌威崎ト云フ、西地、第二ノ岬角ニシテ、岬上ハ險坂

七里、是ヲ石狩ノ通路トス、

増毛港ハ、幌泊ト云フ、石狩港ト相距ル二十二里ナリ、苦前港ハ、増毛ノ北十里ニ在リテ、其海上六里ニ、燒尻、天賣ノ兩嶋相並ブ、日本海ノ嶋嶼ハ、後志ノ奥尻ヨリ、北見ノ利尻ニ至ル、海上百餘里、僅ニ此兩小嶋アルノミ、

北見ハ郡

宗谷ハ全嶋ノ北端ニテ、樺太嶋ノ白主崎ト十二里ノ海峡ヲ夾ム、日本海蝦夷海ノ分界ニシテ、七條ノ潮路アレバ宗谷七汐ノ稱アリ、○宗谷港ハ、札幌ヘ八十二里、北隅ノ要津ナレビ、灣内水淺久且冬日氷海トナルト云フ、利尻嶋ハ港西八里ニ峙チテ、北見富士ト稱ス、周回十里、東岸ニ押泊ア

リ、禮文嶋其西北三里ニアリテ周回十三里、此兩嶋ニニ二百餘口ノ土人アレバ、ニ郡ヲ建テタリ、海岸一百里、全ク蝦夷海ニ向フ、或ハ岩岬高ク崎チ、或ハ平沙遠ク亘リテ舟泊ノ處ナク、僅ニ網走ノ小灣アルノミ、海濱ハ猿拂網走能取等ノ湖沼多ク、中央ノ猿間沼ハ、周回十八里一條ノ沙路ヲ以テ海水ヲ限ルト云フ、

諸滑川勇拂川ハ、共ニ千斗蟹牛岳ニ出デ、其西ニ富別紋別ノ兩川アリ、○常呂網走斜里ノ三川ハ、河岸ニ就キテ、各一郡ヲ置ク、常呂川八十勝岳ノ陰ヨリ來リ、網走川ハ源ヲ釧路、陸別岳ニ發セリ、共ニ北流三十里、○網走港ハ、宗谷ト相距ル七十二里、又根室港ヘハ東南五十里アリ、

千斗蟹牛岳ハ、正南ノ中央ニ立チテ、石狩岳・十勝岳ト相接ス、山脈ノ西北ニ赴ク者ハ、天鹽ノ北境ニ亘リテ、宗谷崎ニ盡ク。○斜里岳ハ、釧路ノ阿寒摩周ノ山脈ヲ承ケテ、別ニ連山ヲ列ネ、宗奈別、硫黃、茶々ノ諸山相並ビテ、最端ニ初登アリ、其岬ヲ知常崎トス、即全嶋ノ東北端ナリ。

膽振八郡

此國ハ繪鞆崎ヲ以テ、地勢ヲ分チ、東ハ太平洋ニ向ヒ、西ハ内浦ニ臨ム。○太平洋ノ海濱ハ、平坦ニテ、日高ニ亘レリ。其正北ハ、嶋松ヲ以テ石狩ニ接ス。國境ニ山岳十ヶレバ、室蘭ヨリ札幌ニ至ル三十四里、亦馬車道ヲ通ゼリ。内浦ノ海岸ハ、後志ト山脈ヲ分キテ、北岸ヲ禮文華ト云フ。岸上ニ賤川

峠ノ險路アリ、以南ハ長萬部遊樂部山越内ノ諸濱相列リテ、森村ニ至ル十五里。

有珠岳ハ、噴火山ニシテ、後志岳ノ東ニ立チ、東ニ白老岳、樽前岳アリ、北ニ惠庭岳、紋別岳アリ、有珠沼ハ、周回十里、東ニ流レテ、長流別ト、共ニ内浦ニ入ル。惠庭岳ノ麓ニ支笏沼アリ、東流七里、千歳ヲ過ギテ、又長都沼トナリ、北ニ流レテ、石狩ニ入ル。千歳川是ナリ、凡國中ノ水ハ、皆流レテ東洋ニ注グ、惟此川ノミ北ニ環リテ、西海岸ニ入ル。

川流ノ外洋ニ入ル者ハ、東隅ノ鷦鷯川、厚眞川、頗長流ナリ、其他ハ、勇拂白老ノ諸川アリ、内浦ニ注グ者ハ、遊樂部川、最大ナリ、其流三十里ニ及ブ、長萬部ハ、蟹寒岳ヨリ出ヅ、其河岸

ハ、後志ノ通路ニシテ、即黒松内ナリ。

室蘭港ハ、東地第一ノ良灣ナリ、繪鞆崎出デ、其前面ヲ遮リ、港口西ニ向ヒテ、大黒嶋其外ニ立ツ、灣内水深クシテ、春冬モ結氷セズ、此港ハ、全道ノ官道ニ當ルヲ以テ、舟舶ノ出入、常ニ盛ナリ、○有珠港ハ、室蘭ノ西六里ニシテ、内浦ニ臨ム小灣ナレドモ、亦碇泊ノ利アリ、

曰高七郡

此國ハ西南ニ大洋ヲ受ケテ、氣候頗溫和ナリ、且土人種族ノ初地ニシテ、沙流郡夷中ノ風俗ヲ存ス、義經ノ此嶋ニ來リシヤ、沙流川ノ西岸ナル平取ニ城壁ヲ築キシト云フ、今尚村中ニ義經神社アリテ、最尊崇ヲ極ム、寛永中染退ニ叛

夷アリシ時、此地ノ土人能ク其兎徒ヲ平ゲシカバ、永ク御身方蝦夷ノ名ヲ傳ヘリ、

此國ノ川流ハ大小三十條、皆西南ニ流レテ、直ニ海ニ入ル、其大ナル者七川アリ、沙流厚別染退、三石鳴舞元浦等ニシテ、新冠川其中ニ冠タリ、夕張岳ヨリ出デ、其流二十六里、○海濱ハ膽振ノ界ヨリ、平坦相亘ル三十五里、東南端ヲ襟裳崎トス、其間ニ浦河様似、幌泉ノ三港アレド、共ニ大船ヲ繫グト能ハズ、様似ニ等持院アリ、有珠ノ善光寺、厚岸ノ國泰寺ト、共ニ文化元年ノ創立ニシテ、是ヲ夷地造寺ノ初トナス、

國中ノ山岳ハ、様毛安寧繁別々別、諸山相列ルモ、甚高峻

ナラズ、東北ノ兩境ハ、連山相圍ミテ、正北ニ最高キ者ヲ、夕張岳トス、連山分レテ、正南ニ亘ル者ハ、薩内、神威、樂古、豐居等ニシテ、十勝ノ界ヲ限ル三十里、又岬角トナリテ、大洋中ニ出ヅルヲ三里、是ヲ襟裳崎トス、岬下ハ岩礁並ビ立チテ、海路最危險ナリ、豊居崎ハ岬上ノ坂路ニシテ、峻険十里ナレドモ、東地ノ官道ニ當リテ、人馬ノ往來、共ニ此路ニ依ル、  
十勝七郡

太平洋ヲ東南ニ受ケテ、海濱ハ淺沙藪澤相列リ、其間ニ生花苗涌洞、長節等ノ諸沼アリテ、沿岸二十里、更ニ舟泊ノ地ナシ、惟西隅ノ廣尾僅ニ小舟ヲ納ルベシ、

十勝川ハ、東ノ父川ト呼ブ、南流四十四里、兩河口アリテ、西

口ヲ大津川ト云フ、其源ハ信滿山ヨリ出デ、國內ノ水、四方ヨリ相合フ者十餘川、其最大ナル者ハ、利別ニシテ、上流ニ釧路ノ足寄川トス、此本支川ノ兩岸ハ、平地相列リテ、土人ノ住スル者、千餘口ニ及ブ、故ニ上川、中川、河東河西ノ四郡合セテ四十一村ヲ置ク、

十勝岳ハ、石狩岳ト相並ビテ、全嶋ノ正中ニ立ツ、信滿山、竿呂岳、其西ニ接シテ、夕張岳ニ連ル、神威岳ハ西境連山中ノ峻峯ニシテ、山勢頗竒秀ナリ、

釧路七郡

釧路岳ハ、增宇西別ノ兩山、其東ニ連リ、西ハ阿寒岳、陸別岳、相並ビテ、十勝岳ニ亘リ、因テ北見ノ界ヲ限レリ、○阿寒岳

ハ噴火山ニシテ、男峯、女峯共ニ高シ、其山間ノ湖水ハ、周回  
十里、岸上ニ温泉火坑アリ、其水南ニ流レテ、阿寒川トナル  
○川流ノ此重山ノ際ニ發源スル者頗多シ、足寄川、網走川  
ハ陸別岳ヨリ出デ、南北ニ分レ、西別、標津ノ二川ハ、增宗  
西別ノ山際ヨリ、東ニ流レテ、根室ニ入ル、  
釧路川ハ、釧路岳ノ釧路湖ヨリ出デ、南ニ流ル、三十七  
里、西ノ母川ト稱ス、其上流ノ地ハ、山際湖邊ニ、土人ノ住居  
スル者、五村アリ、因テ川上郡ヲ置ク、山圍ノ解クルニ及ビ  
テ、平野相列ル、其間ニ知植洞路ノ兩沼相並グ、川流ハ、其水  
及瀨釣川ヲ合セテ、阿寒川ト會シ、一里ニシテ、釧路港ニ入  
ル、港口、狹クシテ、岩礁多シ、故ニ舟泊ノ便ヨナサズ、其海上

## ニ緩嶋アリ、

厚岸港モ亦東地ノ良灣ニシテ、根室港ニ至ル二十五里、西  
ハ室蘭ト相距ル百十七里、灣内、頗廣キモ、沿岸ニ暗礁相並  
ベバ、數多ノ大船ヲ納ル、ト能ハズ、港口ハ正南ニ向ヒテ、  
東端ヲ床丹崎ト云フ、大黒嶋其傍ニ立チテ、入港ノ目標ト  
ナル、仙鳳路モ、灣ノ西岸ニ臨ミテ、亦舟泊ノ用ニ堪フ、又港  
内ニ一沼アリ、周回十里、一嶋高ク峙ツ、牡蠣ノ積ミ重リタ  
ル者ニシテ、土人常ニ食料トス、○濱中港ハ、厚岸ノ東十里  
ニアリテ、其海岸ハ、根室ノ花咲ニ亘ル、港口ノ一嶋ヲ、霧多  
布ト云フ、

## 根室 五郡

此國ノ海岸ハ、納沙布崎ト北見ノ知床崎ト、兩翼ヲ開キテ、大灣ヲ抱ク、灣ノ南隅ヲ根室港トス、此港ハ、北ニ向ヒテ、辨天嶋、其口ニ立ツ、灣内極テ淺小ナレドモ、東隅ノ要津ニシテ、箱館港ト相距ル、百六十六里、夏秋ノ際ハ、舟舶相集リテ、出入頗盛ナリ、港ヨリ西北ハ、平遠ニシテ、藪澤多ク、楓蓮湖、頗大ナリ、周回十五里、兩口直ニ海濱ニ接ス、西別川ハ、東流三十里、河口ヲ別海ト云フ、其北ニ標津川アリ、

野付郡ハ、大灣ノ中央ニ出ヅル岬角ニシテ、別海ヨリ東ニ亘ル五里、岬端ハ、千嶋ノ國後嶋ト相對シテ、海上七里ヲ隔ツ、○目梨郡ハ、東北隅ニ在リテ、北見ト相接ス、千勢根恩根様毛羅牛幌内ノ諸山ハ、其國境ニ亘リテ、總テ目梨岳ト呼

ブ、其端ハ、即知常崎ナリ、  
納沙布崎ハ、正東ニ出ヅルヲ九里、全嶋ノ東端ニシテ、此地ヲ花咲郡トス、郡ノ南岸ハ、全々大洋ニ向ヒテ、險崖十里、海上モ亦大小ノ嶋嶼相並ブ、○水晶嶋ハ、納沙布ノ岬東二里ニ立ツ、其海峽ヲ珸瑤瑁ト云フ、凡東南ヨリ根室及千嶋ニ廻航スル者ハ、必此峽ヲ出入スレバ、岬端ニ燈臺ノ建置アリ、秋露鹽津多樂春刈ノ諸嶋ハ、水晶嶋ノ東ニ連リテ、千嶋ノ色丹嶋ニ連レリ、

## 千嶋九郡

千嶋ハ、東北隅ニ並ブ連嶋ナリ、其嶋民ヲ久留武勢ト呼ベバ、又古利兒連嶋ノ稱アリ、大小二十八嶋、相連リテ、西南ヨ

リ東北ニ亘ルヲ三百里、其狀ハ二行ニ並ビ列リテ、太平洋  
ト蝦夷海トノ經界ヲナス、各嶋ノ峯、多クハ噴火山ナリ、而  
テ土人ノ住スル者、三嶋ニ過ギス、其僅ニ千二百餘口アル  
ノミ、群嶋ニ分チテ、九郡ヲ建ツ、國後擇捉及色丹嶋ハ、古ヨ  
リ我封境ニシテ、得撫以北ハ、新ニ屬シタル嶋嶼タリ、  
邑丹嶋ハ、群嶋ノ西南ニ立チテ、周回二十二里、其北岸ニ良  
灣アリ、占守嶋ノ土人ヲ移シテ、新ニ一郡ヲ建テタリ、  
國後嶋ハ、周回七十里ニシテ、南北三十里、嶋ノ半身ハ、根室  
ノ大灣中ニ入りテ、野杖崎ハ、野付岬ト相對ス、泊港ヲ渡津  
トシテ、根室港ニ至ル十八里、東沸美祿ノ諸沼アリ、茶々登  
辰丑登ハ、嶋背ノ連山ニシテ、東北ノ端ヲ、跡彌ト云フ、擇捉

鳴ト丹根崩海峽ヲ夾ム、峽際七里、

擇捉嶋ハ、周回百五十里、其長五十里ニ亘リテ、其幅ハ十里  
ニ及ブ、連嶋中ノ大嶋ナリ、雞冠散粒摸寄ノ諸山、相列リテ、  
東南岸ハ、斷崖絕壁ナレドモ、西北ハ振別紗那、藥取等ノ港  
灣アリ、即擇捉等ノ四郡ヲ置ク、又流別、藥取ノ兩川、及内保  
訪床當路等ノ湖沼アリ、又勢關、千世牛ノ温泉ヨリ、東北隅  
ニ刺鬼別ノ大瀑布アリ、飛流六十丈、直ニ海中ニ落ツレバ、  
波浪激動シテ、其近岸ニ近クノ能ハズ、

得撫嶋ハ、又臘虎嶋ト呼ブ、周回六十里、東南ニ小舟港アリ、  
此嶋ハ、擇捉ノ東北十五里ヲ隔テ、其海峽ヲ有リ斯ト呼  
ブ、總テ各嶋ノ際ハ、共ニ海峽ヲ夾ミテ、海潮ノ出入、殆順逆

ノ定勢ナ久且海霧常ニ深シト云フ、○塵外ハ南北ニ分レ  
テ、南嶋ヲ燒氣ト云ヒ、北嶋ヲ禮文ト云フ、其東北ニ振頓武  
將ノ兩嶋相並ブ、諸嶋共ニ居民ナシ。

新知嶋ハ周回三十三里、東北ノ武老屯港ハ、千嶋第一ノ良  
灣ナリ、北ニ向ヒテ、灣内方二里ニ亘リ、其最深キ處ハ、五十  
仞ニ及ブ、且四面共ニ山圍ニシテ、海風猛烈ナルモ、碇泊極  
テ平穩ナリ、○毛問磨根牛知ノ諸嶋ハ、相峙チテ、東北ニ列  
リ、將輪嶋頗大ナリ、昔時ハ、土人ノ住居アリシガ、今ハ悉、占  
守嶋ニ徙リテ、新知以下ト、共ニ無人嶋ナリ、其北ニ並ブ松  
輪雷苔ノ兩嶋モ亦同ジ、

占守嶋ハ、周回、二十三里、連嶋ノ最極ニ在リテ、魯領ノ甘察

加岬ト古利兒海峽ヲ夾ム、兩岸ノ樹木、相辨ズベシ、西南岸  
ニ前羅巴港アリ、幌筵嶋ノ乙前港ト、相對シテ、共ニ舟泊、  
利アリ、○幌筵ハ、占守ノ西南ニシテ、周回八十里、其北ニ崎  
ツ小嶋ヲ洗戸ト云フ、○恩丹嶋ハ、周回二十六里、鍼丹ハ十  
二里、舍丹ハ十六里、其間ニ巻類繪狩ノ兩嶋アリ、其ニ幌筵  
ヨリ西南ニ亘リテ、武知嶋ハ、大小四嶋、相並ビテ、新知郡、  
雷苔ニ連ル、舍丹、恩丹ノ兩嶋ハ、海獵ノ最盛ナル處ニテ、夏  
秋ノ際ハ、海獸、海魚ヲ獵スル者來リ集ルト云フ、  
全道ノ物產ハ、其品類頗多キモ大率皆海陸、自然ノ者ニ係  
ル、水產殊ニ盛ニシテ、鮭魚昆布ヲ其中ノ第一トス、鮭ハ石  
狩、西別ノ兩川最夥シ、鹽引トシ、罐詰トシテ、四方ニ輸送ス

ル者毎歲實ニ數十萬石ニ及ブ、鱈鯉鮓鰐コレニ次グ、鱈ハ別ニ肝油ヲ製シテ、最良ノ藥品ヲ出ダス、鮓ハ其胎子ヲ數子ト呼ビテ、亦產出ノ多キ者トス、又鰐烏賊牡蠣海參海栗海扇等アリ、昆布ハ內國食料ノ外支那ニ輸出スルト、極テ多シ、此他ハ海布、海苔ヨリ、石花菜、鹿角菜等ノ類ヲ產ス、鳥獸ハ鷺鷹鶴雁、及熊羆、犬狸等ニシテ、奇種ニハ黑狐、斑狐アリ、馬ハ寛政中、陸奥ヨリ移シ、者ナルガ、今ハ牧場ヲ置キテ、種育ノ法ヲ設ク、家畜房ニハ牛、馬豚ヲ畜ヒ、又牧羊、養豚ノ兩場ヲ置ク、鹿ハ勇拂、沙流ニ多シ、其皮角ヲ採リ、肉ハ罐詰トシテ、輸出スル者、一年ニ二十六萬箇ナリト云フ、海獸ハ得撫ノ臘虎、内浦ノ脰肭臍共ニ貴重ノ品ニ係レリ、水豹

水獺ノ海獵ヨリ、捕鯨ノ業ヲナス、樹木ハ椴、橡、樺、櫟等、種類頗多シ、又蝦夷松、落葉松アリ、遠表ト呼ブ者ハ榆ノ一種ニシテ、其樹皮ヲ織布トス、總縛是ナリ、竹ハ積丹ノ斑竹アリ、其幹ノ斑紋ヲ用ヰテ、各種ノ器玩ヲ製スベシ、○開拓ノ舉アリシヨリ、農業ヲ勧メ、工作ヲ起シ、麥黍、大豆、小豆ノ諸穀ヲ始メ、麻、荳、及蘿蔔、蕪菁、菜蔬、芋薯等、培殖スル者、年々其數ヲ加フ、又製酒製油ノ工場ヲ設ケテ、麥酒最佳釀ノ稱アリ、養蠶製絲ノ業モ、亦盛ニシテ、絲織、大織及縮緬、海氣博多等ノ織布ヲ製ス、又紙類、網類、鐵器、陶器ヨリ一切ノ家具ニ及ブ、其礦業ハ、石炭最盛ナリ、空知ノ出ス所ハ、二億五千餘萬頓、岩内ハ三千八百萬頓、其ニ現出ノ額ニ係ル、金銀、銅鐵、及

沙金沙鐵等ヨリ、石材頗多シ、挾掘其盛大ニ至ラバ、我國富  
強ノ基、此一嶋ニ關渉スル所、其利其益、素ヨリコレヲ測定  
ス可ラザル者ナリ、

改正日本地誌要略卷之四

明治十一年六月十九日 原版々權免許  
明治十二年三月廿二日 分版御届  
明治十五年十一月七日 改正版權免許  
明治十九年五月三十日 出版納本

原版主

兼著述人

東京府平民

大 樞 修

二

每冊定價金廿錢

印行

三

柳 原 喜 兵 衛

神原

大阪府平民

三 木 佐 助

印行

府下東區北久寶寺町四丁目四拾四番地

出版人

出版人

大阪府平民

岡 烏 眞 七

印行

府下東區本町四丁目五拾九番地

